

会議結果報告書

会議の名称	令和6年度第1回札幌市子ども・子育て会議児童福祉部会 検証WG
日時・場所	令和7年1月30日(木) 18:00~20:30 大通バスセンタービル2階会議室
出席委員 6名/6名中	加藤弘通、椎木仁美、星信子、高橋伸浩、水岡路代、阿波美枝

議事	概要
<p>1 検証ワーキンググループの座長選任、概要説明</p>	<p><座長選任></p> <p>○(町田施設運営課長) 子ども・子育て会議には複数の部会があり、部長については、全体の進行や議事の取りまとめなどの役割を担っていただくこととなる。同様に、この検証ワーキンググループに関しても、円滑に議事を進行していくために、取りまとめをする座長を選任するのが適当と考える。座長については、特に立候補等が無いようであれば、事務局の方で候補者を挙げたいと考えているがよろしいか。</p> <p>→(委員) 異議なし</p> <p>○(町田施設運営課長) それでは、座長は星委員に依頼したいと考えている。理由としては、札幌大谷大学短期大学部の保育科の教授の職にあらわれて保育に関する知見を有していること、札幌市子ども・子育て会議の副会長を務めていただいているほか、保育施設との関係の深い認可・確認部会の部長を務めていただいております。本事業は、保育施設で発生したものであることから、これらの知見を有する星委員が適任と事務局は考えているかがかか。</p> <p>→(委員) 異議なし</p> <p>○(町田施設運営課長) それでは、本部会の座長に星委員を選任する。</p> <p><WGの概要説明></p> <p>事務局から以下の資料について説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 再発防止に向けた検証について
<p>2・3 死亡事案の概要・詳細説明/今後の検証方法等</p>	<p>○(座長) 本検証ワーキンググループにおける事案の検証にあたっては、12月20日の児童福祉部会よりもさらに踏み込んで、死亡した児童のほか、その保護者、保育所における職員個人を特定した上で状況の説明をしていくことになるなど、札幌市情報公開条例に定める非公開情報を取り扱うこととなります。適切な再発防止策を得るためには検証ワーキング構成員間において必要な議論を尽くす必要がありますが、議論の過程における審議や検討などに関する情報が公開された場合、無用な干渉などの影響を受けることにより、率直な意見交換が適切になされず、結果として、適切な結論が得られないおそれがあり、こういったものも札幌市情報公開条例上の非公開情報となるそうです。したがって、これ以</p>

	<p>降の議事、また次回以降の検証ワーキングも含め、最終的に再発防止策を検討し、報告書を取りまとめるところまでの部分に関しては、議事を非公開とすることが適切と考えているがいかがか。</p> <p>→（委員）異議なし</p> <p>（以降は非公開のため非掲載）</p>
--	---